



東邦大学医療センター大森病院



座長

堀 裕一 先生

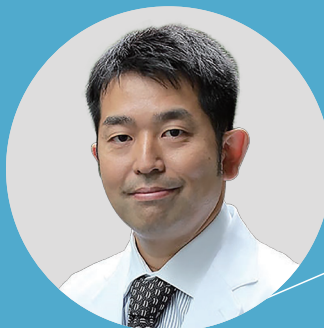
1995年 大阪大学医学部卒業
1997年 国立大阪病院眼科レジデント
1999年 宝塚第一病院眼科医長
2001年 米国ハーバード大スケペンス眼研究所研究員
2009年 東邦大学医療センター佐倉病院眼科講師
2011年 東邦大学医療センター佐倉病院眼科准教授
2014年 東邦大学医療センター大森病院眼科教授
2019年 角膜学会理事長就任

知っておくべき マイボーム腺機能不全 (MGD)の診断と治療

臨床現場におけるオキュラースーフェスの診断では、『目が乾く、痛い、熱い、ゴロゴロする』など患者の抽象的な表現を的確に判断し、正確に診断していく必要があるが、その所見は多様であり原因は見落とされがちで治療につながっていないことも多い。

近年、注目を集めているマイボーム腺機能不全 (Meibomian Gland Dysfunction: MGD) はその代表格であり、臨床像が多様であり診断に苦慮する点や、適切で効果的な治療が十分に認知されておらず重症になるまで放置されている症例があるなど、QOV に直結する非常に重要な疾患であるものの、大きな注意を払われていないことが現実だと思われる。

本セミナーはこのMGDについて臨床現場で知っておきたい基本知識から最新情報までをアップデートするために企画した。鈴木崇先生にはMGDの疫学調査から見てきた原因と診断について、有田玲子先生にはMGD治療についての最新知見をご講演いただく。



東邦大学医療センター大森病院

マイボーム腺
機能不全の診断
鈴木 崇 先生



伊藤医院

マイボーム腺
機能不全の治療戦略
有田 玲子 先生

知っておくべき
マイボーム腺機能不全(MGD)の診断と治療

マイボーム腺 機能不全の診断

鈴木 崇 先生

(東邦大学医療センター大森病院)

1999年 愛媛大学医学部 卒業、愛媛大学医学部眼科入局
2006年 博士号取得愛媛大学
2006年 宇和島病院眼科医長
2007年 鷹の子病院眼科医長
2008年 米国ハーバード大学スケペンス眼研究所留学
2010年 愛媛大学医学部眼科助教
2013年 愛媛大学医学部眼科講師
2016年 シンガポール国立眼センター留学
2016年 医療法人石峰会いしづち眼科院長
愛媛大学医学部眼科非常勤講師兼任
2017年 東邦大学医学部眼科客員准教授兼任
2018年 東邦大学医療センター大森病院眼科
眼疾患先端治療学講座寄附講座准教授兼任

マイボーム腺機能不全 (MGD) は、日常診療においてよく遭遇する疾患であり、的確な診断が求められる。分泌減少型MGDでは、MGDワーキンググループの提案している診断基準を参考に、自覚症状、マイボーム腺開口部周囲異常所見、マイボーム腺開口部閉塞所見を確認し、診断を行う。さらに、マイボグラフィによるマイボーム腺の形態を観察したり、マイボーム腺から分泌される脂質から構成される涙液の油層を確認したりすることも、MGD診断の参考になる。また、分泌減少型MGDでは、ドライアイとのオーバーラップも認められ、ドライアイ診断も必須となる。一方、分泌増加型MGDでは、脂質が多量に産生され、泡状の分泌物が貯留する場合があるが、感染性眼瞼炎との鑑別が必要な場合が多い。さらに、マイボーム腺の強い炎症を伴う後部眼瞼炎や眼瞼縁炎とMGDとの鑑別も困難な症例も多く、詳細な眼瞼の観察が必要になる。

マイボーム腺 機能不全の治療戦略

有田 玲子 先生

(伊藤医院)

1994年 京都府立医科大学 卒業
1997年 大阪大学細胞生体工学センター
(染色体機能構造分野)留学
2001年 京都府立医科大学大学院博士課程修了
2002年 慶應義塾大学眼科助手
2005年 伊藤医院眼科副院長
2007年 東京大学眼科臨床研究員ドライアイ外来主任
2011年 慶應義塾大学眼科講師(非常勤)
2012年 慶應義塾大学付属病院MGD外来主任

ドライアイの主因でもあるマイボーム腺機能不全 (以下、MGD) の患者数は、米国で10%、アジア全体で65歳以上の50%から70%、日本国内だけでも3000万人以上と推定され、国際的に最も注目を浴びている疾患のひとつである。MGDの従来の治療法は温罨法や眼瞼清拭などであるが、なかなか治療効果を患者自身が実感できず、治療の継続が難しかった。ここ数年のあいだに、国内外においてMGDをターゲットにした薬剤や治療機器が登場し、この領域の治療が活性化している。そのひとつとしてLipiFlowがあげられる。MGDの最先端の治療法として当院では、100名以上のMGD患者にLipiFlowを施術し、さまざまな知見を得た。今回のセミナーでは、LipiFlowの実際の施術動画、安全性、有効性、よい適応、施術後の経過など、当院の臨床経験をご紹介します。いただく予定である。